

令和3年度事業報告会 開催報告

はじめに

当センターは2022年3月18日(金)、「令和3年度 東北活性化研究センター事業報告会」を仙台市で開催しました。本報告会は会員企業の皆さまをはじめとする方々に、事業の概要等についてタイムリーに報告することを目的に定期的に開催しているものです。

遠方等の理由によりご参加が難しい方々にも当センターの事業の一端をご理解いただく好機として、令和2年度よりYouTubeによるライブ配信も行っており、当日は来場者45名、ライブ配信視聴者146名のご参加をいただきました。

1 概要

1.1 第1部「新しい働き方『副業・兼業』がもたらすポストコロナの地方創生」

第1部では「副業・兼業による新たな人材・人口還流方策」と題して、調査研究部主任研究員伊藤孝子より報告しました。概要は以下のとおりです。

近年、都市部人材を中心に新たな働き方のひとつとして「副業・兼業」への関心が高まりを見せております。「副業・兼業」を通じて首都圏人材の東北圏への人材還流を促すために実施したアンケート調査の結果から、首都圏人材の地方での副業・兼業意向および東北圏企業の副業・兼業人材受け入れ意向の実態について紹介しました。



写真1 調査研究部 主任研究員 伊藤 孝子

1.2 講演

続いて、同報告の先進的な事例として、とっとりプロフェッショナル人材戦略拠点 戦略マネージャー、株式会社あきんど太郎 代表取締役店主の松井 太郎 氏より「月3万円の報酬で、鳥取県はなぜ大都市圏から人材が呼べるのか？」

令和3年度 **事業報告会**

日時	2022年3月18日(金) 14:00 ~ 16:00
会場	TKP ガーデンシティ仙台 仙台市青葉区中央1-3-1 AER30階
定員	会場参加：50名(定員になり次第締め切り) 参加費無料 <small>*YouTube視聴に人数制限はありません</small>

YouTube
ライブ配信あり

プログラム概要

第1部 新しい働き方「副業・兼業」がもたらすポストコロナの地方創生 [14:05 ~]

事業報告①
副業・兼業による新たな人材・人口還流方策
—ニューノーマルにおける都市部人材と東北圏企業の意識調査から—
調査研究部 主任研究員 伊藤 孝子

講演
月3万円の報酬で、鳥取県はなぜ大都市圏から人材が呼べるのか
地元企業に活力。「とっとり副業・兼業プロジェクト」
講師 **松井 太郎 氏** とっとりプロフェッショナル人材戦略拠点戦略マネージャー
株式会社あきんど太郎代表取締役店主

【講師略歴】
大阪府出身。ソフトバンクを経て、2016年から現職。
地方版ハローワーク「鳥取県立ハローワーク」の無料職業紹介機能と「プロフェッショナル人材戦略拠点」の人材スカウト機能を組み合わせた全国的ビジネス人材獲得プラットフォームを活用し、2019年には「とっとり副業・兼業プロジェクト」を立ち上げ、高度な専門性や豊富な経験を持つ都市部大企業のビジネス人材等を副業・兼業や移住就職等により県内企業へ数多く誘致。また、2017年には鳥取銀行との共同出資により、鳥取県人限りの「華 Lab」(旧：華小学校)に地方創生の総合会社「あきんど太郎」を設立。事業承継を活用して若手経営者を100人輩出する「あきんど百人計画」を推進。

第2部 東北圏企業のデジタル化推進とその先にあるDXを目指して [15:15 ~]

事業報告②
東北圏の産業分野におけるデジタル技術活用に関する実態調査
—中小・中堅企業におけるデジタル化推進に向けて—
調査研究部 専任部長 矢萩 義人

企業の取組事例紹介 (株式会社IBUKI)
上記の報告において先進的な事例として取り上げた企業様にご登壇いただき、その取り組みをより詳しくご紹介いたします。(株式会社IBUKI システム開発チーム チームリーダー 林孝之氏)

主催：公益財団法人東北活性化研究センター
後援：一般社団法人東北経済連合会

図1 「令和3年度事業報告会」開催案内

44 | 東北活性研 Vol. 47 (2022 春季号)

地元企業に活力、『とっとり副業・兼業プロジェクト』と題した講演をいただきました。講演内容につきましては、本誌特集「ニューノーマルにおける新しい働き方」に掲載しております。



写真2 講演 松井 太郎 氏

1.3 第2部「東北圏企業のデジタル化推進とその先にあるDXを目指して」

第2部では「東北圏の産業分野におけるデジタル技術活用に関する実態調査」と題して調査研究部 専任部長 矢萩 義人より報告しました。概要は以下のとおりです。

東北圏のデジタル技術を利用するユーザー企業と、それを支援するITベンダーなどのサポート企業の双方に実施したアンケート調査と先進事例調査を踏まえ、東北圏企業のデジタル化推進に向け、ユーザー企業、サポート企業、そして行政・支援機関に対し各々提言しました。



写真3 調査研究部 専任部長 矢萩 義人

1.4 企業の実践事例紹介

続いて、株式会社IBUKI 業務改革チーム 林

孝之 氏より、「型屋がデジタル化を実践！」と題して、自社によるデジタル化の取組事例をご紹介いただきました。概要は以下のとおりです。

同社の専任者としてデジタル化を推進してきた林氏より、従業員がメリットを感じるデジタル化から着手する導入時の進め方から、熟練技術者が持つ技術・技能といった暗黙知の可視化、人材確保やデジタル化の効果検証に至るまで、同社が着実に且つスピード感を持って進めてきた取り組みについて、今後デジタル化を進める企業にとって参考になる内容をお話いただきました。



写真4 取組事例紹介 林 孝之 氏

講師の松井太郎氏、取組事例紹介企業の林孝之氏に対しては、活発なご質問、ご意見をいただきました。

また、閉会後には、松井、林の両氏と来場者が活発に意見交換する姿も見られました。

おわりに

当センターでは、事業報告会を重要な情報発信の機会と位置付けており、今後も毎年定期的で開催してまいります。

また、各種イベント等も適宜開催しております。様々な活動を通じて有益な情報発信を継続してまいります。今後とも変わらぬご支援のほどよろしくお願い申し上げます。